

特別な田植え会となりました



田植えの数日前までの天気予報では雨の予報でしたが、今週に入り天気が回復する予報となり、その予報どおり暑くも寒くもない絶好の田植え日和となりました。今年も特別な田植えの会でした。5月26日の新聞記事でも報じられていましたが、今年度は奈良・興福寺への献米が復活して10年目を記念して興福寺のお坊様が来てくださいました。コロナウイルス感染症のために2年ぶりの田植えでしたが、10周年記念の年を願う行事を行っていたので、田植えへの心構えも盛り上がっていました。

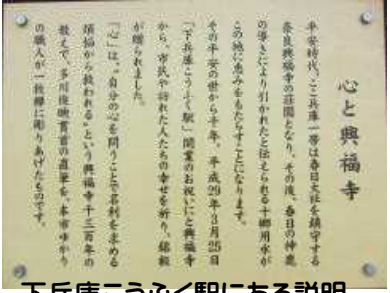
4・5年生は初めての田植えなので、最初の一步を田に入れる勇気が出ないという子もいました。これは先

週の練習の時には体験できないことなので、戸惑った子も多かったようです。場所によってはかなり深くなっているところもあり、足を抜くこともままならない様子でした。慣れてくると上手に植えている子もいましたが、派手に尻もちを付く子もいました。



育つん田の約半分は手植えて植えて、残り半分は6条植の田植機で植えていただきました。その速さ、きれいさの差をまざまざと感じました。

下兵庫こうふく駅の「こころふく」は、2017年に坂井市内の名変更の際、兵庫地区にゆかりの深い興福寺と福井県が幸福度ランキング全国1位となったことにちなんで名付けられたと聞いています。駅舎の入り口にも興福寺から贈られた「心」の銘板があります。このようなことも子どもたちに語り継いでいきたいものです。



下兵庫こうふく駅にある説明と福井県が幸福度ランキング全国1位となったことにちなんで名付けられたと聞いています。駅舎の入り口にも興福寺から贈られた「心」の銘板があります。このようなことも子どもたちに語り継いでいきたいものです。

子どもたちの稲作体験を毎年お世話くださっている下兵庫むらづくり委員会の皆様、興福寺との縁をつないでくださっている兵庫地区まちづくり協議会の皆様、本当にありがとうございました。

カブトムシの幼虫をいただきました

下兵庫の高島土建様から大きな衣装ケース2つ分のたくさんのカブトムシの幼虫をいただきました。先日持ち帰った子がたくさんいたことと思います。大人気で見事に完売(?)いたしました。

黄色くなってきていてさなぎになる日も近いと思います。触ってかわいがりたい気持ちはわかりますが、あまりさわらずそっとさなぎや成虫となる日を待ちたいと思います。

高島様、ありがとうございました。

